

# たけだ



QUARTERLY MAGAZINE TAKEDA

## たけだ通信

TAKEDA [No.114] 平成30年12月1日発行



### 医療法人 財団 康生会

救急告示病院・地域医療支援病院・臨床研修指定病院・開放型病院・日本医療機能評価機構認定病院・外国人患者受入れ医療機関認定制度(JMIP)認定病院

#### 武田病院

〒600-8558 京都市下京区堀小路通西洞院東入東塩小路町841-5(JR京都駅前)  
TEL.075-361-1351 FAX.075-361-7602

#### 武田病院画像診断センター (PETセンター)

〒600-8558 京都市下京区堀小路通西洞院東入東塩小路町841-5(JR京都駅前)  
TEL.075-361-1680 FAX.075-361-1682 プリーコール 007-77-5588

#### 人間ドック健診施設機能評価認定

#### 武田病院健診センター

〒600-8216 京都市下京区堀小路通西洞院東入東塩小路町608 日本生命京都三哲ビル3F  
TEL.075-365-0825 FAX.075-361-3829

#### 北山武田病院

〒603-8053 京都市北区上賀茂岩ヶ垣内町99番地(地下鉄北山駅)  
TEL.075-721-1612 FAX.075-701-7399

#### 山科武田ラクトクリニック

#### 山科武田ラクト健診センター 人間ドック健診施設機能評価認定

〒607-8030 京都市山科区竹鼻竹ノ街道92番地 山科駅前ラクト山科C3階  
TEL.075-581-0910(山科武田ラクトクリニック) TEL.075-581-6696(山科武田ラクト健診センター)  
FAX.075-581-0991

#### 梶井町放射線診断科クリニック

〒602-0841 京都市上京区河原町通今出川下る東入る梶井町457番地  
TEL.075-950-5751 FAX.075-950-5753

#### 京都駅前武田透析クリニック

〒600-8216 京都市下京区本津屋橋通新町西入東塩小路町606-3-2 三旺京都駅前ビル6階  
TEL.075-351-9200 FAX.075-351-9201

#### 康生会クリニック

〒600-8231 京都市下京区油小路通下魚ノ柳下る油小路町277  
TEL.075-354-7227 FAX.075-354-7228

#### 柳馬場武田クリニック

〒604-8113 京都市中京区柳馬場通六角下る井筒屋町407番地 シティハウス407 1F  
TEL.075-213-2216 FAX.075-213-2217

#### 京都壬生宛診療所

〒604-8821 京都市中京区壬生塚ノ宮町31番地  
TEL.075-823-3371 FAX.075-822-6550

#### たけだ診療所 (免疫・遺伝子クリニック)

〒600-8216 京都市下京区本津屋橋通新町西入東塩小路町606-3-2 三旺京都駅前ビル1階  
TEL.075-351-8282 FAX.075-351-8448

#### 柳馬場訪問看護ステーション ☆

〒604-8113 京都市中京区柳馬場通六角下る井筒屋町407番地 シティハウス407 1F  
TEL.075-212-7266 FAX.075-212-7321

#### 京都市 下京・中部 地域包括支援センター ☆

(高齢サポート・下京中部)

〒600-8233 京都市下京区西洞院堀小路 上る北不動堂町573  
TEL.075-361-2141 FAX.075-361-2145

### 医療法人 財団 医道会

回復期リハビリテーション病棟・救急告示病院・開放型病院・日本医療機能評価機構認定病院

#### 十条武田リハビリテーション病院

〒601-8325 京都市南区吉祥院八反田町32(十条新千本角)  
TEL.075-671-2351 FAX.075-671-2961

#### 十条訪問看護ステーション ☆

〒601-8107 京都市南区上島羽南唐戸町7番地 Kビル1階 表中号  
TEL.075-671-2415 FAX.075-671-2435

緩和ケア病棟・日本医療機能評価機構認定病院

#### 稲荷山武田病院

〒612-0801 京都市伏見区深草正覚町27番地(京阪島羽通駅)  
TEL.075-541-3371 FAX.075-532-5115

### 医療法人 財団 宮津康生会

日本医療機能評価機構認定病院

#### 宮津武田病院

〒626-0041 京都府宮津市鶴賀2059番地の1(京都丹後鉄道宮津駅)  
TEL.0772-22-2157 FAX.0772-22-1125

#### 宮津武田病院訪問看護ステーション

〒626-0041 京都府宮津市宇鶴賀2058番地の7  
TEL.0772-22-2525 FAX.0772-22-2526

### 医療法人 児玉記念乳腺クリニック

〒603-8325 京都市北区北野上白梅町35  
TEL.075-463-8050 FAX.075-462-5504

救急告示病院・臨床研修指定病院・歯科医師臨床研修指定病院・開放型病院・日本医療機能評価機構認定病院・人間ドック健診施設機能評価認定

#### 宇治武田病院

〒611-0021 京都府宇治市宇治里尻36-26(JR宇治駅前)  
TEL.0774-25-2500 FAX.0774-25-2353

#### 指定介護療養型医療施設

#### 木津屋橋武田病院 ☆

〒600-8231 京都市下京区油小路通下魚ノ柳下る油小路町293番地  
TEL.075-343-1766 FAX.075-343-5739

### 医療法人 医仁会

救急告示病院・臨床研修指定病院・卒後臨床研修評価機構認定病院・歯科医師臨床研修指定病院・開放型病院・日本医療機能評価機構認定病院・京都府がん診療推進病院

#### 医仁会武田総合病院

〒601-1495 京都市伏見区石田森南町 28-1 (地下鉄石田駅・外環伏線沿)  
TEL.075-572-6931 FAX.075-571-9877

#### 附属施設/医仁会武田総合病院リハビリセンター

〒601-1439 京都市伏見区石田森南町27-1  
TEL.075-572-5139 FAX.075-571-8877

#### 疾病予防センター

〒601-1495 京都市伏見区石田森南町28-1  
TEL.075-572-6365

#### 武田クリニック[血液透析センター]

〒601-1495 京都市伏見区石田森南町33-6  
TEL.075-572-6984 FAX.075-572-6218

指定管理者 医療法人 医仁会 救急告示病院

#### 精華町国民健康保険病院

〒619-0241 京都府相楽郡精華町祝園砂子田7番地(JR祝園駅・近鉄新祝園駅)  
TEL.0774-94-2076 FAX.0774-93-2818

#### 老人保健施設 白寿 ☆☆

〒601-1434 京都市伏見区石田森南町9番地  
TEL.075-572-8207 FAX.075-572-8726

#### 京都市下京区地域介護予防推進センター ☆

〒600-8223 京都市下京区七条通西洞院西入る南側大黒町227 第2キョートビル5階  
TEL.075-361-1060 FAX.075-361-0901

#### 老人保健施設 いわやの里 ☆☆

〒607-8177 京都市山科区大宅吉海通町52  
TEL.075-572-1811 FAX.075-572-1880

指定管理者 医療法人 医仁会

#### 辰巳診療所

〒601-1345 京都市伏見区醍醐外山街道町21  
TEL.075-571-8545 FAX.075-571-8555

#### おもいやり訪問看護ステーション ☆☆

〒601-1434 京都市伏見区石田森南町9番地  
TEL.075-574-1621 FAX.075-574-1622

#### 京都市 醍醐・南部 地域包括支援センター ☆

(高齢サポート・醍醐南部)

〒601-1434 京都市伏見区石田森南町9番地  
TEL.075-572-6572 FAX.075-575-4738

### 社会福祉法人 青谷福祉会

#### 特別養護老人ホーム ヴィラ稲荷山 ☆☆

#### ヴィラ稲荷山デイサービスセンター ☆☆

〒612-0801 京都市伏見区深草正覚町23番  
TEL.075-561-6550 FAX.075-561-6552

#### 軽費老人ホーム ヴィラ城陽 ☆☆

#### 訪問介護ステーション ヴィラ城陽 ☆☆

〒610-0114 京都府城陽市市辺壹京1番地  
TEL.0774-551-8751 FAX.0774-54-3321

#### 特別養護老人ホーム ヴィラ山科 ☆☆

#### ヴィラ山科デイサービスセンター ☆☆

#### ヴィラ山科オレンジデイサービスセンター ☆☆

〒607-8179 京都市山科区大宅御所田町115-1  
TEL.075-572-6677 FAX.075-572-6866

#### 訪問介護ステーション ヴィラ山科 ☆☆

〒607-8179 京都市山科区大宅御所田町115-1  
TEL.075-575-5252 FAX.075-575-5055

#### 京都市 大宅 地域包括支援センター ☆☆

(高齢サポート・大宅)

#### 特別養護老人ホーム 加茂の里 ☆☆

#### ケアハウス あじさい ☆☆

#### デイサービスセンター 加茂の里 ☆☆

〒619-1154 京都府木津川市加茂町東四丁目1番地3(JR加茂駅前)  
TEL.0774-76-7607 FAX.0774-76-7802

#### 訪問看護ステーション あじさい ☆☆

〒619-1154 京都府木津川市加茂町東四丁目1番地3(JR加茂駅前)  
TEL.0774-76-0234 FAX.0774-76-7802

#### 訪問介護ステーション 加茂の里 ☆☆

〒619-1154 京都府木津川市加茂町東二丁目2番地1 ユニ加茂老番館(JR加茂駅前)  
TEL.0774-76-0233 FAX.0774-76-8461

#### 木津川市地域包括支援センター加茂 ☆

〒619-1154 京都府木津川市加茂町東2-2-1 ユニ加茂老番館  
TEL.0774-76-8294 FAX.0774-76-8461

#### 城陽市立東部デイサービスセンター ☆☆

〒610-0102 京都府城陽市久世ヶ原6番地の2  
TEL.0774-56-2530 FAX.0774-56-2531

#### 三条小川デイサービスセンター ☆☆

〒604-8246 京都市中京区小川通三条下ル堀々町124  
TEL.075-254-1106 FAX.075-254-1107

#### たけだホームヘルプサービス三条小川 ☆☆

〒604-8246 京都市中京区小川通三条下ル堀々町124  
TEL.075-211-5999 FAX.075-254-1107

### 社会福祉法人 悠仁福祉会

#### 京都認知症総合センター

〒611-0021 京都府宇治市宇治里尻36-35

#### 特別養護老人ホーム ヴィラ鳳凰 ☆☆

#### ケアハウスやまぶき ☆☆

#### デイサービスセンター ヴィラ鳳凰 ☆☆

TEL.0774-25-2577 FAX.0774-25-2788

#### 京都認知症総合センタークリニック

TEL.0774-25-1110 FAX.0774-25-1108

#### グループホーム ヴィラ鳳凰

TEL.0774-25-1130 FAX.0774-25-2788

#### オレンジデイサービスセンター ヴィラ鳳凰

TEL.0774-25-1120 FAX.0774-25-1121

#### 訪問看護ステーション ぷくろう ☆☆

TEL.0774-25-1150 FAX.0774-25-1161

#### 訪問介護ステーション ぷくろう ☆☆

TEL.0774-25-1160 FAX.0774-25-1161

#### カフェほうおう

TEL.0774-25-1125 FAX.0774-25-2788

#### グループホーム 鳳凰横島 ☆☆

〒611-0041 京都府宇治市鳳凰大河原町35-5  
TEL.0774-25-2050 FAX.0774-25-2160

QUARTERLY MAGAZINE TAKEDA

## たけだ通信

TAKEDA [NO.114] 平成30年12月1日発行



武田病院グループでは、環境保全活動に取り組み、CO<sub>2</sub>の発生を削減できる水なし印刷及び環境にやさしい植物油インキを採用しています。

※京都介護・福祉サービス第三者評価等支援機構による第三者評価受診施設  
☆ISO9001:2015認証

# December 2018 No. 114

質の担保と効率を求められる医療・介護 患者さん・ご家族の気持ちに寄り添いながら 幅広い連携で全員参加の地域医療をめざす／武田 隆久	02
つれづれに／武田 道子	04
キャッシュレス社会／武田 隆司	06
医療者一人ひとりが自覚を持ち 患者さん・ご家族の寄り添いとなる／武田 隆男	08
たけだインフォメーションニュース	10
キッチン探訪 馴染み深い食材 大根 を美味しくいただきます／新迫 智子	14
ケアアドバイス 介護が明るく楽しい職場だと知ってもら 有料老人ホームってどんなところ？ 「キッズケア体験」を開催しました／市川 努	15
ワンポイントフィットネス 皆さんの脚は疲れていませんか？／窓場 朱根	16
くすりのお話 「薬剤師のためのアンチ・ドーピングガイドブック2018年版」より／結城 知子	17
ナーシングメッセージ 人生の最期を迎える患者さんに寄り添って 菱田 恵子／山下 綾／横川 美香／柴山 亜希子	18
法話／醍醐寺 壁瀬 宥雅 執行長	20
平成30年度 武田病院グループ物故者追悼法要 1261柱の御霊を追善供養	

# たけだ

たけだ通信

## No.114

### December 2018



## 経営理念

### 思いやりの心

私たちは常に思いやりの心もち 患者さんに信頼される病院でありたい

私たちは人々の生命の尊厳に対する希求  
健康への願いに対するニーズに応え  
地域社会に信頼される病院でありたい

私たちはお互いに尊敬と協調の心もち  
職員相互が信頼しあう病院でありたい

## 基本方針

### Bridge The Gaps

「ブリッジ・ザ・ギャップス(橋をかけよう)」

武田病院グループは  
患者さんとの間に思いやりと信頼のかけ橋を  
地域社会との間に信義と信頼のかけ橋を  
すべての職員の間心と心をつなぐ  
信頼のかけ橋をつくりあげる  
努力を重ねます

### 患者さんの権利の尊重

私たちは  
患者さんの意見・立場を大切にし  
インフォームド・コンセントを  
尊重します

### 地球にやさしい環境づくり

武田病院グループは地球環境の保全を  
保健・医療・福祉活動  
及び関連活動で常に考慮し  
地球にやさしい、心がかよう、心が安らぐ  
豊かな社会環境の実現に貢献します

## 信頼の医療に向けて

私たちは、医療とは患者さんとの「信頼と意思疎通」を原点としていることを深く認識し、  
患者さんにより良い医療を受けていただけるように日々努力を重ねるとともに、次の項目を守り、  
患者さんの健康管理・治療・療養等にチーム医療で支援します。

#### ①患者さんの人格・価値観を尊重します。

患者さんが治療や検査等を受けるにあたり、ひとりひとりの人格・価値観を尊重し、  
相互の信頼・協力関係の下で医療を行います。

#### ②良質な医療を平等に提供します。

すべての患者さんに対して、良質な医療を平等に、そして、継続的に提供します。

#### ③患者さんの立場に立ってわかりやすく説明をします。

治療や検査等についての説明や情報の提供に際しては、正確に伝えるだけでなく、  
患者さんの立場に立ってわかりやすい説明と良好な意思疎通を行って、  
理解と合意を得られるように努めます。

#### ④患者さんの意思を尊重します。

治療や検査等に際し、十分な情報提供と意思疎通を行った上で、相互の信頼・  
協力関係の下、治療方法等の選択について、患者さんの意思を最大限尊重し  
ます。

#### ⑤個人情報・プライバシーを厳守します。

患者さんの個人情報やプライバシーは厳格に保護します。

「患者さんの権利の尊重」展開 03.07.01

## ISO14001自己宣言書

武田病院グループの環境マネジメントシステムがISO14001の規格に適合していることについて自らの責任で決定し、ここに自己宣言します。

武田病院グループは、地球環境保全を保健・医療・福祉活動及び関連活動で常に意識し、  
グループの果たすべき重要な課題として捉え、今後も尚一層積極的に環境活動を推進します。

08.12.15 武田病院グループ  
理事長 武田 隆久

## 環境方針

私たちのまち京都は、千余年に及ぶ長い歴史の中で特色のある伝統・文化をはぐくみ、  
歴史と文化の香り高い独自の環境を形成し自然との共生の中で伝統と創造のまちとして発展してきました。  
武田病院グループは京都で活動する意義と責務を深く認識し、地球環境保全を保健・医療・福祉活動及び関連活動で常に考慮し、  
地球にやさしい、心がかよう、心が安らぐ豊かな社会環境の実現に貢献します。

また、関連する法的要求事項、自己公約を遵守するとともに関連団体における環境理念等を尊重し、  
気候変動の緩和に適応した低炭素化社会の形成、医療・保健材料の省資源化、再生化を考慮した資源循環型社会の発展に貢献します。  
私たち、一人ひとりが適切な保健・医療・福祉の提供の中で環境の有限性を深く認識し、組織的に継続的な改善を目指した環境マネジメントシステムの運用をはかります。

#### ① 省資源・省エネルギーの推進

保健・医療・福祉活動及び関連活動における消耗品の省資源化、再生化を図り、  
資源循環型社会の形成を推進します。  
再生可能なエネルギーの導入、省エネルギーの推進により二酸化炭素の排出を抑え、  
低炭素化社会の形成を推進します。

#### ② 廃棄物の3R(減らす、再使用、再資源化)の推進

保健・医療・福祉活動及び関連活動によって発生する廃棄物の3Rを推進します。  
購入段階から再使用、再資源化可能な材料等を取り入れ、廃棄物の減量化を図ります。  
また、医療廃棄物の安全処理・廃棄については、厳重に管理します。

#### ③ 安全性・快適性の推進

自然災害・人災等に対応した地域社会との連携、施設の保健・医療・福祉活動の  
継続的改善を図り、医療消耗品、薬品、食料の備蓄、エネルギー供給の多重化等  
を含む安全確保、及び事業活動による汚染の予防と施設環境の改善、快適性を推  
進します。

#### ④ 環境広報活動の推進

環境方針・目的的全職員への周知徹底及び施設利用者、地域社会、利害関係者等  
とのコミュニケーションを目的とした情報提供、環境広報活動を推進します。

環境方針書No3 17.01.20 武田病院グループ  
理事長 武田 隆久



## 質の担保と効率を求められる医療・介護 患者さん・ご家族の気持ちに寄り添いながら 幅広い連携で全員参加の地域医療をめざす

70歳以上の人口割合が、はじめて全人口の20%を超え、2618万人に達しました(総務省発表)。年齢とともに有病率や要介護認定率は上昇し、高齢者人口も増加しますので、医療・介護のサービス必要量はさらに大きなものとなります。ところが、これを支える医療・介護提供者、財源が不足しており、大きな社会問題となっています。今回は、提供サービスの効率と質の担保をテーマに武田病院グループの取り組みをご紹介します。

### 人のつながりへの働きかけが 地域医療の質を向上させる

これまで国は「選択と集中」のキャッチフレーズのもと、予算の絞り込みを行ってきました。とりわけ医療・介護分野は顕著で、「予防」や「早期退院」につながる(と考えられる)ものに診療報酬・介護報酬での誘導を行なっています。

今年4月に実施された診療報酬改定では、これまで以上に踏み込んだ改革をしようとの試みがなされました。特徴的なものとしては次の3つが挙げられます。

●1つ目は、看護師の配置数など「体制の評価」を中心としたものから、どれだけ重症の患者さんに対応しているかという「実績の評価」へシフトすること。

●2つ目は、どれだけだけの費用がかかっているかという「コストの評価」であったものを、結果としてもたらされる医療の質を問う「価値の評価」へシフトすること。

●3つ目は、売り上げである「収益の評価」から、人の配置など経費を考慮した「利益の評価」へのシフトです。

これは、財源不足・人手不足を背景に「効率」と「提供するサービスの質」を両立させようとした結果でしょう。実はこうした考え方は我々医療者だけではなく、サービスを受ける患者さんや市民の皆さんも対象とされており、このほど厚生労働省は「上手な医療のかかり方を広めるための懇談会」を立ち上げるなど、市民の意識改革に本腰を入

れています。

こうした動きには「受診抑制ではないか」との批判も出ていますが、「自身で健康管理を行う」考え方や「無駄を排し、患者さんのために効率良く、質の高い医療を提供する」との方向性は賛同できます。

ただ、大変大きな変革を伴う試みであり、実行には注意が必要です。かつてもはやされたコンパクトシティー構想は、これからの日本を救う一つの手法としてもはやされましたが、いざ実行となると難航し、計画そのものの見直しを迫られています。

コンパクトシティー構想は、エリア外の住民の移転(移動)による集中をめざすもので、この点では「住み慣れた場所での暮らしの継続」という地域包括ケアの考え方はおおよそ真逆です。「暮らし

る仕組みとも言えます。

オープンから半年が経過し、地域への浸透も進んでまいりました。カフェほうおうでは、認知症の方へ本人がやりたい事を形にするため、様々な企画や自主サークル活動が動きだしています。7月25日には、『地域回想法』昭和30年代のあの頃にふれてみませんか』写真で振り返るあの日あの時の遊び』を開催しました。また、認知症の当事者同士の出会いの窓口『オレンジドアノックノックれもん』を10月に開設し、当事者が当事者の相談に応じる「ピアサポート」を実施しています。まだまだ発展途上ですが、認知症予防に関心の高い宇治市民の声をいたたたきながら、さらに良い取り組みにしていこうと考えています。

### 病診連携や一般参加の講座など 全員が参加する地域医療へ

また、地域の療養環境の向上には、病院と診療所が連携する密接な病診連携が欠かせません。

当グループでは、康生会武田病院・仁会武田総合病院など高度急性期を担う病院で、地域の開業医の先生方と二階に医療の最新知見について学ぶ勉強会・講演会などの会合を定期的に開催しています。先端的な取り組みや症例について情報共有することはもちろん、会合を通じてお互いの得意分野や体制、考え方を



とは、地域の多くの人の心がつながって成り立っているものであり、便利さだけでは、例え深刻な状況であっても、なかなか同意は得られないことを証明しているのではないのでしょうか。これは医療・介護にも通じることで、人のつながりへの働きかけなしにはその地域で提供されるサービスの質の底上げは図れないと考えています。

病床においても、このコンパクトシティー構想と似た動きがあり、病床機能の「選択と集中」が政策的に進められています。同列に扱えるものではありませんが、医療・介護制度はなくてはならない社会保障であり、その影響一つで大変多くの方の人生が左右されるので慎重な配慮が必要です。

最適な環境(病床、在宅)で良質な医療を受けるためには、単に「効率」

知り、スムーズな連携ができるようにしています。

医療・介護従事者の不足が言われて久しいですが、充実した地域医療を提供するのは必ずしも人数とは限りません。むしろお互いの連携が上手いことこそ、地域が持つ医療資源・介護資源の有効活用、活性化が期待できると考えています。

一方で当グループは、地域の基幹病院・中核病院としての役割を果たしているかなければなりません。24時間365日体制で重篤な救急患者さんを受け入れ治療を行うことや、高度な医療を提供することがその最大の役割だと認識しています。そして何より中心となるのは患者さん、地域の方です。当グループでは、病気の予防や健康づくりに自ら参加していただけのように、疾患ごとの市民公開講座を定期開催しています。ここでは医師をはじめとする医療の専門家が聞き役となり、参加された皆さんの質問にお答えしています。どのように患者さんとなったご家族に寄り添えば良いか、どのように病気の発症・再発を予防する暮らしをしたら良いか、一緒に考えて、意見を交換することで、我々医療者も地域の皆さんもさらに意識が高まるものと思います。

こうした全員参加の地域医療の促進により、住みやすい地域づくり、健康増進をめざしてまいります。今後ともご支援ご協力をお願いいたします。



と「提供するサービスの質」を問うのではなく、支え手となる地域の方や医療・介護者の気持ちにつながる関わり方が重要ではないかと考えています。

これを具現化する取り組みの一つが、当グループが4月にオープンさせた「京都認知症総合センター」です。ここでは本邦初となるクリニックを併設した常設の認知

症カフェを運営しており、認知症の方ご本人、ご家族や地域の方が交流し、情報交換を行い、専門職に相談できる場として地域の方に喜ばれています。

「認知症かもしれない」といった初期の段階から医師や専門職がご本人・ご家族と関わり、地域の方と一緒になって支えていくもので、いわば心のつながりによって医療・介護を効果的に提供す



# 「つれづれに」

温度計の動きがゆるやかになり、いつの間にか自然のグラデーションが山々を染める季節になりました。澄みきった青空、天馬肥ゆる頃、そこに小さな秋を見つけることが出来ます。森の中を歩いて居りますと、どこからかさわやかな風がモクセイの香りを運んでまいります。心がしずまるように感じられます。

今年も暦の上では、はや寒露(10月9日)が近づいてまいりました。年々月日の経つのがはやくなり、これは年のせいでしょうか!?

路端には秋の忘れ形見の様な落ち葉の吹き溜りが出来、深まりゆく

域間の格差の解消の観点から健康寿命の延伸にむけた取り組みを推進する」と発言されて居ります。2010年から男女共に延伸している背景には、生活習慣の改善や、高齢者の社会参加の場が広がっていることが延伸につながっているとみられています。100才のハードルはもうそこ迄、間もなく越えられる日がやって来るでしょう。

増税に関して、あまり国民がさわがなくなりました。前回、増税は介護の方へまわすと云われつつも、実現されずに今日に至って居ります。老人医療の自然増をくい止め、しめつけが来るような現状では、世界一の長寿国から転がり落ちる日が来るかも知れません。国民が元気でなければ国は栄えません。子供の出生率も1.43と落ち込む中、人口はマイナスに転じて来て居ります。京都は1.31となつて居ります。最近招

秋の風情を感じます。

〃秋来ぬと 目にはさやかに見えねども 風の音にぞ驚かれぬると云う句のごとく、本当に風の音に秋を感じます。

9月は敬老月間でした。世界一の長寿の方は117才のボリビアの方と発表されました。我国は世界1、2を争う長寿国を保つて居りますが、少し追い越されそうになってまいりました。

我国では、平均寿命が男性81.09才、女性87.26才、健康寿命との差はまだまだ大きいものがあります。平均寿命は寝たきりで天井と

かれざる客、台風の訪問も多く、水害、地震などの天災も増えてまいりました。人口の減にはこのようなことも原因の一つ、マイナスの一つかも知れません。

2025年を目ざして超高齢化社会を乗り切るには、地域包括ケアシステムの構築と地域医療構想の2つが2本柱となります。

超高齢化社会では高齢者医療と介護は一体化して行くこととなります。中・小病院は地域包括ケアシステムを支える病院になる必要があります。

地域包括ケアシステムを構築するためには、行政はもとより、我々病院や地域医師会、介護・福祉事業者、支え手となるすべての方が協力する必要があります。皆で住み良い地域となるよう前進してまいります。

武田病院グループ 副理事長  
康生会武田病院 名誉院長  
社会福祉法人 青谷福祉会 理事長

武田 道子



〃にらめっこして居ても伸びますが、健康寿命は御自分で努力しなければなりません。

健康寿命とは、自分で何でも出来る、自立した生活を送れる期間であり、生活習慣病に気をつけて行くことです。

そして何よりも病気は未病のうちに見つけることです。その為には、健康診断を受けることが大切です。健康寿命の延伸への取り組みについては、健康局長は「健康無関心層も含めた予防健康づくりの推進と、地





## キャッシュレス社会

武田病院グループ 専務理事  
医療法人財団 康生会 理事長

武田 隆司



最近はめっきり小銭を持ち歩く機会が減った。

言うまでもなく電子マネー普及の恩恵だ。

電子マネーを初めて使ったのは鉄道系のカードだった。

なんと便利なシステムだろう!と感動したものだ。

それが今ではスマホ内のアプリに収まり、コンビニではカードを出す手間すら無くなった。

カード決済やネットバンキングも含めたキャッシュレス化普及のスピードは目覚ましい。

しかしながらMUFPGのレポートによると、世界におけるキャッシュレス決済比率は韓国がトップで約90%と2位の中国(60%)に大きく差を開けている。

日本は10位(18%)とのことだ。

日本で現金利用率の高い原因は「安全」「通貨の信頼」「ATMの普及」「銀行が多い」など様々な理由はあるだろう。

しかしながら他国から来る人にとっては異常な状態であり、2020年のオリンピック開催までにこの事態を解決するように諸外国から要望があったことは容易に想像できる。

これを受けて「未来投資戦略2018」では2027年6月までにキャッシュレス決済比率を倍増し4割程度を目指すという閣議決定が成された。

更に経産省は「大阪・関西万博(2025年)に向けキャッシュレス決済比率40%を前倒しすることとし、将来的には80%を目指す」と宣言している。

つい先日降って湧いたように流れてきた「10%増税の際にキャッシュレス決済を利用すれば2%還元します」というニュースも国家戦略の一貫と考えれば納得が行く。

40%を超えとなると6位のスウェーデン(49%)レベルとなるのだが、調べてみるとなるほど、北欧の銀行はフィンテックを世界最速のスピードで導入しているという。

北欧最大手のノルデア銀行(本部スウェーデン)は数年前に「真のデジタル銀行になる」と宣言して以来、キャッシュレス化とモバイルキャッシングの導入に注力し、店舗や人員の削減を断行することによって収益向上を成し遂げている。

昨年秋に三大メガバンクの一角であるみずほFGが全従業員の1/4に当たる19,000人の人員削減を行うと発表した。連結業務純利益で見ると'03年度に比べて'17年度は55%減とのことなので致し方無いのかも知れない。

この背景にあるのがモバイルQRコード決済や個人送金アプリサービスなどの普及であり、その結果として銀行やクレジットカード事業者が独占してきた従来の決済事業にEC(電子商取引)やSNSなどの事業者が多く参入してきた。

キャッシュレス社会を実現できれば日本国にとっては他にもメリットがある。

一つは現金ハンドリングコストの削減だ。

日銀によると貨幣の年間製造コストは517億円とのこと。

また全国にATMは約20万台あり、これらの維持や現金運搬には年間2兆円のコストがかかるという。

キャッシュレス化が実現すればこれらのコストが相当額圧縮可能となる。

また試算では日本の現金流通は112兆円とされており、このうち9割近くが1万円札だという。

現金の利用法を完全に把握することは不可能だ。

従って現金が地下経済を支えるダークマネーとなることを阻止すべく、世界では高額紙幣の発行を終了する動きが加速している。

現在流通している高額紙幣はUS100ドル、200ユーロ、そして1万円札程度なのだ。

こうした流れもキャッシュレス社会の実現を後押しする追い風となっている。

そしてその実現の先には日本国が待望の「税のとりっぱぐれ防止」が待っている(おそらく本懐はこれに尽きる)

納税はもちろん国民の義務だが、税の正しい分配もまた国の「権利」ではなく「義務」である。

国民の血税を扱う方々は、「病院の診療報酬に消費税分を補填するのを忘れてました」などとふざけた謝罪を今後は決してすることのないように職務を全うしていただきたい。

また「コンパクトオリンピック」をコンセプトに誘致に成功しておきながら、無限に増え続けるオリンピック予算などにもしっかりと目を光らせて管理して欲しいものだ。



## 医療者一人ひとりが自覚を持ち 患者さん・ご家族の寄る辺となる

武田病院グループ 会長

武田 隆男



京都大学高等研究院副院長・特別教授の本庶佑先生が2018年のノーベル医学・生理学賞を受賞されました。画期的ながん治療薬の開発につながる研究が認められたものです。

本庶先生は大学の後輩で、ゴルフを楽しむ機会が多々ありました。当時はそのご研究が緒つづになったところでご苦労されていました。それでも己を曲げない姿勢には感動を覚えました。

人類に貢献する偉大な成果を結ばれたことはもちろん、不屈の精神で研究を続けられましたことに対しても敬意を表し、あらためまして本庶先生に心よりのお祝いを述べたいと思います。

このように医療の世界、なかでも免疫療法は日進月歩の領域です。当グループのただ診療所でもこの9月に

「新規WT-1ペプチド」を用いた「樹状細胞ペプチドワクチン療法」の臨床応用を開始しました。特異的キラーT細胞の誘導に加え、このキラーT細胞をさらに活性化するがん特異的なヘルパーT細胞の誘導も可能とのことで、その効果に期待しているところで

余談ですが、「ヘルパーT細胞」や「キラーT細胞」というと、以前は首を傾げられたのですが、最近では細胞を擬人化したテレビアニメが流行し

ているようで、一般の方にこうした細胞の名前や働きへの理解が広がっているようです。かたちはどうあれ、自身の身体の中の働き、健康維持に興味を沸くのは大変良いことだと思います。

がんの治療において我々医療者は、とくに注意しなければならないことがあります。それは、「治そう」との意識があまりに高いため、急性で急性的治療が難しくなった際に「最善策として療養治療」を薦めるときがセオリーに則ったもので、心からのご提案であったとしても、患者さんやご家族がそれを望んでいるとは限りま

せん。ここで、「見捨てられた」「匙を投げられた」との思いを抱かれることが考えられるのです。

治療とは、医療者側だけで行うものではありません。患者さん、ご家族と一緒にやって行うもので、そうやってはじめて効果が期待できます。医療者に不信感を抱いては効果も薄くなってしまうでしょう。ましてやがん治療で重要となる「免疫力」は、心のありように影響を受けるものです。



医療を提供する一人ひとりが皆『良かれ』と思つて行動しているのは間違いないありません。そこで、患者さんやご家族の気持ちに寄り添っているか、ぜひ自問自答をしてみてください。武田病院グループが基本方針に掲げる『ブリッジ・ザ・ギャップス』とは、こうしたときに、患者さんとの間に思いやりと信頼のかけ橋をつくりあげることが謳っているのです。

患者さんの不安の多くは、先が見えないこと、選択肢が見えないことからきています。そこで寄る辺となれるかどうか、我々一人ひとりの自覚にかかっていることを忘れないでください。

地域の皆さんの不安解消と当グループの役割についても申し上げたいと思います。

今年には災害が続いており、6月には大阪北部地震でブロック塀が倒壊し児童が犠牲になるなど、目を覆うような被害が発生しました。9月には、北海道胆振東部地震により多くの方

が被災されました。この地震ではその被害規模だけでなく、一昨年の熊本地震に並ぶ震度7を記録したことに驚きました。

また多くの台風も来襲しました。9月には台風21号が上陸、さらに10月に入る頃に台風24号、続いて25号が上陸しています。京都では、北部の複数地域で多大な浸水被害が発生しました。あまり報道されませんでした。南部では精華町で2ヵ月にわたり避難勧告が出されていきました(7月6日〜9月3日)。当該地域の方は、大変、不安な日々を過ごされたことと思います。

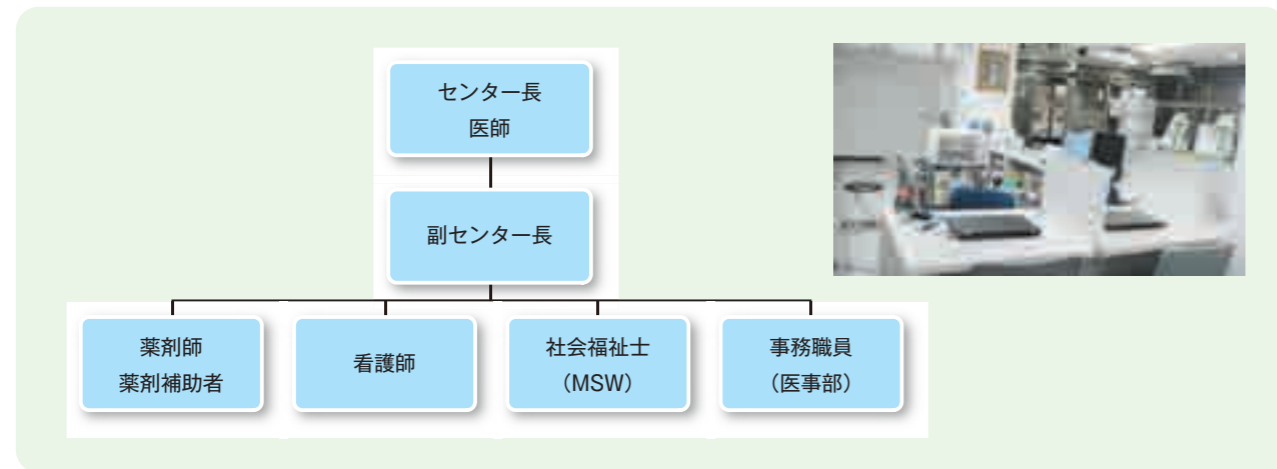
当グループでは、北部で宮津武田病院、南部で精華町国民健康保険病院を運営しております。私共の活動が、少しでも地域の皆さんのご不安解消につながればと思います。

被害を受けられた地域の皆さんに謹んでお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興がなされますよう、心よりお祈り申し上げます。



医療法人 財団 康生会 武田病院

「患者サポートセンター」が中心となり、患者さんと地域社会に橋をかけます。地域医療連携室は、患者サポートセンターとして生まれ変わります。



康生会武田病院では、地域療養支援を強化するために新たなチームで協働する事になりました。

入院されてからの支援ではなく、病院に来られたその時から、住み慣れた地域で療養できるように、支え・つなぎます。お困りの方は、病院玄関入ったところの患者サポートセンターへお越し下さい。

頼られる病院を目指して、地域の先生方、施設・福祉の職員の方との連携を強化していきます。



患者さんをご紹介いただける先生へ



医療機関専用

連携医療機関の方へ

**【受付時間】** 月曜日～金曜日…午前 8:30～午後 7:00  
 土曜日……………午前 8:30～午後 5:00  
 ※日曜日・祝日・祭日・年末年始はお休みさせていただきます。  
 ※地域医療連携室受付時間外につきましては医事部にて対応させていただきます。

☎ **075-361-1352** (直通)  
 FAX.075-361-1337 (直通)

[TEL] 075-361-1351 (代表)  
 [FAX] 075-361-1268 (医事部専用)

医療法人 財団 康生会 たけだ診療所

「樹状細胞WT-1ペプチドワクチン療法」たけだ診療所で臨床応用を開始

がんの免疫療法

がんワクチン治療とは免疫療法の一つで、がん細胞の目印となるタンパク質(がん抗原)を元につくられるワクチン治療です。タンパク質の一部(ペプチド)を用いてワクチンをつくる研究が広く行われています。代表的なものにペプチドワクチンと、ペプチドを樹状細胞に取り込ませた樹状細胞ペプチドワクチンがあります。

ペプチドワクチンは直接体内に注射することで、ペプチドが皮内の樹状細胞に取り込まれ、キラーT細胞を誘導してがんを攻撃します。しかし、抗がん剤などで患者の免疫細胞が弱っている場合は、治療効果が出ないこともあります。樹状細胞ペプチドワクチンは、患者から採血で得た免疫細胞から元気な樹状細胞を拡大培養し、これにペプチドを取り込ませたものを体内に注射することで、確実にキラーT細胞を誘導することができます。

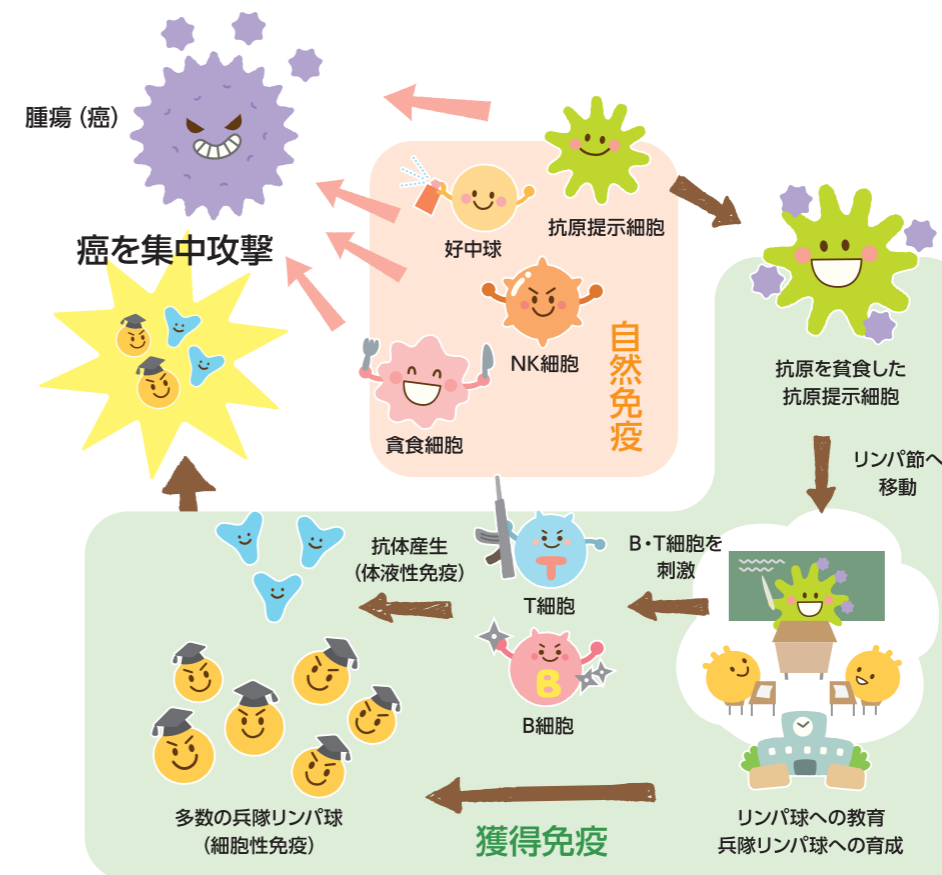
ハイレベルな新規ワクチン

多くの方のご協力を得て、今年9月からたけだ診療所では新規WT-1ペプチドを用いた「樹状細胞WT-1ペプチドワクチン療法」の臨床応用に着手しました。

樹状細胞ペプチドワクチンを使う場合、いかに良質の樹状細胞を用いるか、いかにがん特異性の高いがん抗原ペプチドを用いるかが、ワクチンとしての品質の高さを決めます。新規ワクチンはこれらをハイレベルでクリアしており、キラーT細胞の誘導に加えて、キラーT細胞をさらに活性化させるヘルパーT細胞の誘導も可能です。

新規ワクチンは保険適用外の治療となりますが、臨床成績のデータを蓄積し、より有効ながん免疫療法の開発に取り組んでいきたいと考えています。

がん免疫療法とは、  
自分の免疫細胞を使ってがんを攻撃する治療法です



たけだ診療所  
免疫遺伝子医療部門  
センター長 古倉 聡

免疫の力ががん増殖の勢いを抑え込むように、免疫細胞(ナイーブT細胞やNK細胞等)を体外で増やし同時にがんを攻撃する能力を強化した上で、体内に戻す免疫細胞療法や体内でのがん特異的Tリンパ球の誘導を行う樹状細胞WT-1ペプチドワクチン療法等が「がん免疫療法」です。



## 京都認知症総合センター

### こども食堂ほうおうを開店！ 小さなお子さん、小学生にご来店いただきました

10月6日、社会福祉法人悠仁福祉会京都認知症総合センターが運営するカフェほうおうで「こども食堂ほうおう」を開店しました。

こども食堂は、お子さんを対象に安価な食事を地域で提供する取り組みで、団らんを通じて温かい交流を図るもので、お子さん以外にも広く参加いただいているケースもあります。「こども食堂ほうおう」では、栄養バランスのとれた美味しい昼食を食べ、卓球や将棋などの遊びをお子さんと一緒に楽しんでいただいています。

第1回目となるこの日は、チキンカレーとごほうサラダ、ヨーグルトを美味しく食べていただきました。今後もこども食堂を続けていきます。



チキンカレーをほおぼるお子さんたち



食後は卓球で遊びました

## 医療法人 医仁会武田総合病院

### 患者さんの安心をサポートする「入退院支援窓口」 入院前に入院後・退院後の療養生活をご説明しています

医仁会武田総合病院では9月18日より入退院支援窓口の運営を開始しました。当窓口では、入院を予定している患者さんを対象に、入院中や入院後にどのような治療過程を経るのかをイメージし、安心して入院医療を受けていただけるようご支援しています。

具体的には入院前に外来で、「入院中の治療についての説明」や「入院生活に関するオリエンテーション」、「服薬中の薬

の確認」、「褥瘡・栄養スクリーニング」などをさせていただいています。10月末時点で、約90名の患者さんをご支援しました。今後も患者さんが安心して入院いただけるよう、努力してまいります。



## 糖尿病患者会 積翠会

### 糖尿病患者会「積翠会」の日帰り旅行が開催されました 京ゆば膳に舌鼓 エクササイズやマジックショーも堪能

康生会クリニック・康生会武田病院の糖尿病患者会「積翠会」主催で10月21日、円山公園にあります京料理 いそべに行ってきました。

当日参加したのは、患者会会員11名・医師5名・看護師1名・管理栄養士2名・健康運動指導士1名・事務職2名の計22名です。

お食事は京ゆば膳をいただきました。普段から食事療法を心がけていらっしゃるから、皆さん食べる量を調節しながら召し上がられつつ、お話にも花を咲かせておられました。

食後は康生会クリニックの今井健康運動指導士が「からだを伸ばして脳活エクササイズ」と題し、頭と体を動かす運動を全員で楽しみながら行いました。

続いて、康生会武田病院の米田医師による講和「糖尿病について」にも熱心に耳を傾けておられました。さらには、

康生会武田病院医事課の松山フロアマネージャーがマジックショーを披露。最後に康生会武田病院の武田院長が「積翠会を通してより良い糖尿病治療につなげられるように」と締めくくり、一人ひとりが改めて糖尿病について考える充実した1日となりました。

康生会武田病院 栄養科  
管理栄養士 財木 恵



## 医療法人 財団 医道会 十条武田リハビリテーション病院

### 私が開発した橈骨遠位端 ハイブリッドロックングプレートを用いた 合併症の少ない治療を行っています

高齢で骨が弱くなった患者さんの場合、一度固定しても、やがてネジが抜けてくるケースがあります。抜ければ当然、ズレてしまう。こうしたケースでも、絶対抜けないように弱い骨でも固定するのがロックングプレートで、現在の主流となっています。

この、ロックングプレートには大きく2種類ありまして、一つは一方にネジを固定するタイプ。もう一つはネジの方向に自由な角度を持たせたタイプです。

固定式だと、決まった方向にしかネジが進みません。この骨に固定したいと思っても、自由度がありません。ケースによっては、プレートを固定すべき位置では、ネジが骨から突き出してしまうため使えないこともあります。ただ、方向が決まっている分、ネジの固定力が強いので安心できます。

これに対し自由度の高いプレートは、様々な位置に固定できるので、対応力が広いと言えます。ただ、全部が自由だとネジ同士が当たる可能性もあるなど、自由度が高いために手術が難しくなることもあります。また、ネジの固定力が弱いことも問題となります。

まさに一長一短ですね。しかもこれまでのプレートは、「全部固定」「全部自由」のどちらかしかありませんでしたので、この両方の機能を1枚のプレートに持たせた「ハイブリッド方式のロックングプレート」を考案しました。1列目が固定で2列目は接触しない範囲で角度を変えられる、まさに両方の機能の「良いとこどり」なのです。これによって手術はスムー



十条武田リハビリテーション病院  
手外科センター  
センター長 河野 茂

ズになり、また固定力も強固になりました。

プレートを見ていただければ分かるように、これまでの平面なプレートと異なり橈骨に合わせた捻れた形状になっているので、骨との適合が非常に良いのです。骨にフィットすることはもちろん、骨の表面を通っている親指を動かす腱に干渉しないため、従来のプレートと比較すると腱断裂などの合併症予防にもつながります。

材質はチタン合金で、厚さは僅か2mm。非常に軽くて丈夫です。制作にあたっては技術的に難しい面もありましたので、高度管理医療機器の認証を受けるまで4年ほどの期間を要しました。



注目ポイント1 理想的な位置（関節の直下）にネジを入れ固定できる

術前CT画像



転落して受傷し来院されました。関節面が粉碎して大きくズレた骨折で、適切な位置で軟骨下骨を支持するのが難しいケースです。

術後X線画像



ハイブリッドロックングプレートを関節直下に固定しています。



注目ポイント2 橈骨に沿う“逆位相”を採用した世界初のプレート



骨は平面でなく、とくにプレートで固定したい部分は逆向きの傾斜となっています。ハイブリッドロックングプレートは、解剖学的な遠位・近位の逆位相の捻れを再現しており、骨表面と良好な適合性を持つことができます。

1列目は強固に固定します。2列目は自由度があるため高い対応力を発揮します。



## 介護が明るく楽しい職場だと知ってもらおう 有料老人ホームってどんなところ? 「キッズケア体験」を開催しました

あいらの杜宇治五ヶ庄では、楽しみながらお子さんに介護の仕事を楽しんで体験していただく「キッズケア体験」を8月4日に開催しました。これは、有料老人ホームでの楽しい暮らし、そこで働く介護のプロ・看護のプロがどのような仕事をしているかを、学び・体験していただく企画です。参加されたお子さんは、地域の小学生7人です。スタッフが見守るなか、大きな歓声をあげながら電動車椅子の操作や機械浴を体験し、終始笑顔で過ごされました。

歓声をあげたのはお子さんだけではありません。高齢の入居者さんは、風船バレーやしりとりでお子さんと一緒に盛り上がり、はじけるような笑顔で声をあげて楽しめました。

核家族化がすすみ、お年寄りとの暮らしを知らないお子さんが増

えているなか、入居者さんと触れ合い、一緒にゲームに興じるのは、とても貴重な機会になっているようです。「楽しかった」「また来たい」というお子さんの声だけでなく、「また連れていきたい」「次回お願いします」と保護者さんも声も多く、大変、満足いただいた様子でした。

介護の現場は、世間と言われるような「3K」ではありません。楽しく、そしてやりがいのある職場であることを、もっと多くの方に知って頂きたいと考えています。次年度もキッズケア体験を継続し、もっと幅広い企画で地域に開かれた施設を目指していきたいと思ひます。

武田病院グループ本部  
福祉介護部 次長 市川 努



スタッフが想像する以上に盛り上がった車椅子体験。



特殊浴槽を体験し、歓声をあげるお子さん。最後はシャワーの掛け合いになりました。



「なんで2人とも聴診器つけてるの?」と血圧測定では看護師もたじろぎです。



風船バレーの勝利にスキップするお子さんの様子に入居者さんからは笑顔がこぼれます。



最高潮に達したのはしりとりです。入居者さんとお子さんがタッグになり、「頼んで」「まかせてよ」と言葉を交わしながら、相手チームと競い合いました。



## 馴染み深い食材 大根を 美味しくいただきます

春の七草の1つに挙げられる大根(すずしろ)ですが、「古事記」の歌に詠まれているほど昔から馴染みのある食材です。「大根どきの医者いらず」「大根役者」「大根頭にごほう尻(じり)」などの諺にもなっています。

大根の注目される栄養成分としては、消化を助けてくれる効果のあるアミラーゼやオキシターゼ、解毒作用の期待できる4-メチルチオ3-ブテニル・インチアソート(MTBI)を含みます。また、大根の根は淡色野菜に分類されますが、葉の部分は緑黄色野菜に分類されカルシウム・カリウム・カロテンが豊富に含まれます。又、保存性を高めると共に、栄養素が凝縮される、切り干し大根・お漬物の形で利用されています。



稲荷山武田病院 栄養科  
管理栄養士 副主任 新迫 智子

食品成分 (「日本食品標準成分表2015年版(七訂)から抜粋引用」)

食品100gに含まれる栄養成分	単位	ナトリウム	カリウム	カルシウム	マグネシウム	リン	鉄	亜鉛	銅	モリブデン	βカロテン	ビタミンC
		mg	mg	mg	mg	mg	mg	mg	mg	μg	μg	mg
だいこん/葉、生		48	400	260	22	52	3.1	0.3	0.04	-	3900	53
だいこん/根、皮付き、生		19	230	24	10	18	0.2	0.2	0.02	3	0	12
だいこん/漬物/たくあん漬/干しだいこん漬		970	500	76	80	150	1	0.8	0.05	-	0	12

### ～みぞれ鍋～

**材料(1人分)** 1人分 317kcal  
豚ロース肉100g、水菜1束(1/4袋・約50g)、長ねぎ1/4本(約25g)、人参1/10本(20g)、椎茸2個(20g)、大根1/4本(約200g)  
鍋つゆ:水250cc、醤油25cc、酒12cc、みりん6cc、おろし生姜小さじ1/2杯、和風顆粒だし1g、塩少々

**《下準備》**  
人参は5ミリの輪切りにし硬めに下茹です。そのあと、型抜きする。  
椎茸は軸を切り、かさに切り込みを入れる。  
水菜は6cm位に切り、長ねぎは斜め切り、大根はすりおろし、水気を切っておく。

**《作り方》**  
①鍋つゆを火にかけて煮立たせる。  
②豚肉をほぐし入れ、火が通ったら味を確認し醤油・塩などで調節する。  
③人参・椎茸・水菜・長ねぎを入れ程よく火を通す。  
④仕上げに大根おろしをのせる。  
※お鍋に欠かせない大根ですが、輪切り・半切りなど、切るばかりではなくおろしにしてみてもいいでしょう。  
大根の根の上部は甘みがあり大根おろしにはおすすめです。  
※鍋つゆ・具材はお好みでアレンジが可能です。



### ～贅沢煮(「沢庵のたいたん」「大名煮」)～

**材料(4人分)** 1人分 46kcal  
たくあん漬け1/2本(70g)、水適量、醤油大さじ1杯(18g)、みりん小さじ1杯(6g)、かつおだし少々・白ごま適量

**《下準備》**  
たくあん漬は3mmくらいの輪切りにし、水にさらして塩気をぬく。

**《作り方》**  
①鍋にたくあん漬けと水を入れ、途中何度も水を替えながら柔らかくなるまで煮る。  
②水を捨て、かつおだし・みりん・醤油で味を調え煮含める。  
③仕上げに白ごまをふりかける。





## 「薬剤師のためのアンチ・ドーピングガイドブック2018年版」より

2020年7月24日東京五輪開幕式まであと657日となりました(10/6現在)。日本選手の活躍が期待されます。選手たちのフェアプレーはたくさんの感動をもたらしてくれる事でしょう。一方で、ドーピング問題が社会的関心を集めています。ドーピングという言葉は、最近では国家ぐるみで不正を働いたロシアのニュースだけでなく、クリーンとされてきた日本選手の違反も目立ち、6月13日に国内初のドーピング防止法が国会で可決・成立されたことなど多くの人に知られるようになってきました。ドーピングは、公正さを基本とするスポーツ競技において重大なルール違反であるというだけでなく、選手の健康そのものにも影響を及ぼす可能性のある危険な行為です。しかし、不正に禁止薬物を使用したわけではないものの、不注意から市販のかぜ薬などを服用し、ドーピング陽性と判定されあえなく競技への出場停止、競技成績を失効する事例が報告されています。このような「うっかりドーピング」を未然に防止するうえで、地域で医薬品の提供に関わっている薬剤師およびスポーツファーマシストのアンチ・ドーピング活動への貢献が期待されています。

「薬剤師のためのアンチ・ドーピングガイドブック」は、毎年1月1日に更新される世界アンチ・ドーピング機構(WADA)の禁止物質リスト(禁止表)2018年改訂に伴い、日本薬剤師会、国民体育大会開催都道府県の薬剤師会と日本スポーツ協会アンチ・ドーピング部会が共同で作成しているもので今回で15年目の発刊となります。これは競技選手の使用可能薬を探すことを目的に作成された前述の「うっかりドーピング」の防止に取り組むようになっています。その中から一部をご紹介します。

### ◆総合感冒薬

- ・多くの総合感冒薬にはエフェドリンなどの禁止薬物が含まれている。
- ・漢方のかぜ薬は穏やかと思われがちだが、よく使われる葛根湯、小青竜湯などには禁止物質(麻黄)が含まれている。
- ・パブロン、ベンザブロック、ルルシリーズのほとんどには禁止物質(メチルエフェドリン、ブソイドエフェドリン、麻黄)が含まれている。(服用可能な製品もあります)
- ・似たような名前でも処方異なるものに注意。商品名が完全に一致することを確認する。
- 「○ストナアイビー」「×ストナアイビージェル」ジェルにはメチルエフェドリンが含まれている。

### ◆胃腸薬

- ・チョウジ(ヒゲナミンを含む)は常時禁止物質。
- ・ホミカ(ストリキニーネを含む)は競技会時禁止物質。
- ・似たような名前でも処方異なるものに注意。
- 「○スクラート胃腸薬(顆粒)」、「×スクラート胃腸薬S(散剤)」にはチョウジが含まれている。

### ◆便秘治療薬

- ・便秘治療薬にはカタカナ表記でも漢方薬の製品がある。
- 「×新ココアボA錠・S錠」は防風通聖散という漢方薬で禁止物質麻黄を含む。「ナイトール85」「ココスリム」という商品名でも販売されている。

### ◆催眠・鎮静・抗不安薬

- ・国境を越えた移動には厳重な規制があるので要注意!
- 入国する国の規制、また日本国内へ持ち込む際の規制がある。
- ・フルニトラゼパム製剤(サイレース、ロヒプノール他)の米国への持ち込みは量に関係なく一切禁止。→不明な点は各国大使館に問い合わせる。

…など、1500品目以上の医薬品が掲載されていますが、索引に該当の医薬品が無い場合、都道府県薬剤師会に問い合わせ、そこからJADA(日本アンチ・ドーピング機構)へ確認後回答されます。

選手生命に関わる重大なことなので慎重に対応されます。

東京2020がフェアプレーで感動を与えるすばらしい祭典となりますようお願いしています。

木津屋橋武田病院薬局  
薬局長代理  
結城 知子



## 皆さんの脚は疲れていませんか?

脚は身体の支えです。脚の筋肉は立ったり、座ったり、歩いたりすることで緊張し硬くなります。硬くなると血流が悪くなり、必要な酸素や栄養が届きにくくなります。また、リンパの流れも悪くなり、疲労物質が蓄積します。これが疲れている状態です。

疲れている状態が続くと、休むだけでは疲れは取れず脚の関節や筋肉だけでなく全身の不調にもつながります。

疲れの解消にストレッチという方法があります。ストレッチは痛みの無い範囲で筋肉を伸ばすと筋肉は収縮と弛緩を繰り返し、緊張がほぐれ血流とリンパの流れが良くなることで、栄養や酸素がいきわたり、疲れの解消になると言われています。

今回紹介するストレッチで脚をいたわってあげませんか?表1の注意点を元に図1~4を行ってみてください。



下京区地域介護予防推進センター  
健康運動指導士 窓場 朱根

(表1)

### ストレッチ体操の注意点

- 反動をつけずにゆっくり伸ばす。
  - 息を吐きながら伸ばす。
  - 10~15秒程度伸ばす。
  - 伸ばされている筋肉を意識する。
  - 痛みを強く感じるところまで伸ばさない。
- 筋肉を柔らかくして動きやすい毎日を過ごしましょう!

(図1)

### 足首周り

歩く、つま先を持ち上げる、地面を蹴る足首周りの筋肉

つま先で円を描くように回す。内回し、外回し両方行う。



(図2)

### 太ももの後ろ、ふくらはぎ

歩く、膝を曲げる、座る、階段を昇るときに使う筋肉

椅子に軽く腰掛ける。左膝を伸ばし、かかとを床につける。両手を左膝に当て、脚の後ろ側全体を伸ばすように体重をかけながら上半身を傾ける。右も同様に行う。



(図3)

### 太ももの後ろ

地面を蹴る、姿勢を保つ筋肉

椅子に腰掛け、両手で左膝を抱え、胸に引き寄せる。右も同様に行う。



(図4)

### 太もも・股関節の内側、肩

立つ動作を安定させる筋肉

椅子に浅く腰掛け、両膝を開き、膝の内側に手を添える。

勢いをつけず  
ゆっくりと伸ばす





# 人生の最期を迎える患者さんに寄り添って

病院、介護施設、ご自宅など、様々な場所で人生の最期を迎える「看取り」。病状や生活環境など様々な制約が発生するため、希望通りの看取りに至るのは難しいケースが少なくありません。こうしたなか武田病院グループ看護部では、できるだけご本人の希望やご家族の思いに沿った看取りにつながるよう、一人ひとりの看護師が努力を重ねています。今号では、人生の最後を迎える患者さんやご家族に寄り添う4人の看護師から、思いやメッセージをお届けさせていただきます。

## 「その時々、の想いに寄り添う」

稲荷山武田病院 緩和ケア病棟  
菱田 恵子

昨年、梅の実りの時期にご縁があり、希望する緩和ケア病棟に就くことができました。

日々症状が変化する患者さんやご家族との関わりの中で、今まで何気なく過ごしてきた「時間」の貴重さを改めて実感しています。

初秋のある日、患者さんの娘さんより、「気分転換に父親を外に連れて行きたい」と相談がありました。患者さんの安全・安楽を考慮し、ベッドのまま病棟の玄関口へ。ベッドの周囲には、娘さんとベッド柵にやつと手が届くほどの背の二人のお孫さんが付き添い、「よいしょ！よいしょ！」と声を掛け合いながら一生懸命にお手伝い

する姿がとてもほほえましいひとこまでした。

玄関口に到着すると、お孫さんたちが飛び交うトンボを見つけ無邪気に走り出し、「走ったら危ないで!!」とおじいちゃんとしての一言。お孫さんたちの「はーい」という返事が返ってくる。患者さんの表情が緩み、その光景を微笑みながら眺めておられた娘さん。何気ない祖父と孫との日常生活の一場面ですが、患者さんやご家族にとっては想い出に残る大切な時間だと思っています。

これからも患者さんやご家族の思いに耳を傾け、残された療養生活の中の「小さな喜び」を見逃さず、その時々、の想いに寄り添い、「時間」を大切に過ごしていきたいと思っています。

## 「看取りについて感じたこと」

特別養護老人ホーム ヴィラ山科  
副師長 山下 綾

現在、施設で最期を迎える（看取り）をされる方が増加しています。看取り期においては多職種連携が特に重要



であり、職種・職員間でのカンファレンスの頻度も増えます。今までの最期に携ったことのない介護職員は、恐怖心が強くなり看護職員に委ねてしまう傾向があります。

私はヴィラ山科へ入職して、看取り期となったご利用者さんが、自分の人生を全うされる、その最期に立ち会える事はとても重要だと思っています。介護職員がご利用者さんの日常生活ケアを日々行い、日頃一緒にいる顔なじみの職員に見守られ、最期を迎えられる時の表情はとても穏やかです。その姿を見ると、今までやってきて良かったという達成感や頑張ろうという意欲につながります。

今後、さらに超高齢社会となっていくと思います。ご利用者さんの人生の最期に立ち会えることは、素晴らしいと思つて貰えるよう、今まで行ってきた援助を多職種間で振り返り、残された人生を楽しく過ごしてもらえようように、私達は援助していきたいと思っています。

## 「思いのこぼれ」

宮津武田病院 病棟  
副主任 横川 美香

長い間透析をされているAさんは全身状態が悪化し、透析を離脱後寝た

きりとなってしまいました。ウトウトとされることも多くなり、かろうじて会話ができ意識疎通ができるという状態でした。

そんな中、病棟のレクリエーションで大正琴のコンサートが開催され、Aさんに参加されてはどうかと声をかけると、頷いて「行きたい」との答えが返ってきました。ベッドのままコンサートに行われる食堂におつれすると、大正琴の演奏に合わせて患者さん達が懐かしい歌を歌う中、Aさんも小さな声で歌い始められました。「この歌よう知つとる。」と言いながら何曲も、時には涙を流しながら歌われたAさんと一緒に私達も歌いました。病室に帰る時に「楽しかった」と、小さな声でおっしゃったAさんは2日後に亡くなられました。

人生の最期を迎える患者さんに少しでも心地よい時間を過ごしていただきたいという思いを、これからも大切にしていきたいと思っています。

## 「思いをつなぐ看取り」

宮津訪問看護ステーション  
柴山 亜希子

医師よりTさんの余命宣告を受けた長女さんは看取りを決心され、当訪

問看護ステーションを利用されることになりました。

Tさんのお孫さん夫婦が医療従事者という事もあり、介護の準備やケアなどにおいて家族の思いが随所に感じられました。

Tさんは声掛けすると眉間にしわを寄せる反応があり、初回訪問時に「目を閉じてはいるが、耳は聞こえるのだから、好きな曲をかけてみては」と提案してみました。次回の訪問では、長女さんが選曲された癒しの音楽が流れる中、穏やかな表情で時を過ごすことができました。

Tさんは、梅味の口腔保湿剤を用いることで少し口を動かす反応や、お孫さんとの介助で少量のゼリーを食べるなどの変化がありました。お孫さん夫婦から口腔ケア方法を学んだ長女さんは「できるようなりました」と笑顔で仰っていました。

義母を看取った経験のあるTさんから、「私のときも宜しくね」と頼まれた長女さんは、休暇制度を利用して一杯介護にあたっておられました。

「適当にしているんですよ！」というのが長女さんの口癖でしたが、最後まで諦めることなく笑顔でTさんの看取りをされました。

病院見学や就職を希望される方、ブリッジの会の活動を詳しくお知りになりたい方は、下記、武田病院グループ看護部人材センターへご連絡、お問い合わせください。

TEL:075-354-7117 FAX:075-353-3839  
e-mail:nurse@takedahp.or.jp  
URL:http://takedahp.or.jp/nurse/



携帯サイト

※ブリッジの会=武田病院グループの看護の魅力を伝えるプロジェクト



看護でつながる、看護がつなく



人のために尽くすことが「布施行」



す。即ち、「不生不滅」は生ずることも減することもなく、「不垢不浄」は汚いことも綺麗ということもない。「不増不減」は増えたり減ったりすることもない。こういう哲学的なことが書かれています。

私どもは、人が生まれるということはおめでたいことと思えます。生じることができるといふことに対しては、おめでたいという気持ちです。そして、亡くなられるということは、武田理事長の追悼の言葉にもありましたが、非常に悲しいことと捉えるものです。しかしながら、般若心経の中には、実は生じること、減することも同じことであると捉えています。

仏教には、「本不生(ほんぶしょう)」という言葉があります。これは、「本来、生ずるところにあらざる」という意味です。全ての物は元からあるのであつて、生じて来たものは、ただ現象として見ているだけなのです。本質を見れば、生ずることも減することもありません。即ち、全宇宙のなかの二つの流れに過ぎないのです。そこには、増えたり減ったりすることもないのです。当然、汚いとか綺麗ということについても、離れなければいけません。

なれるのかということが大事なのです。般若心経では、これを「空」と申します。密教では、「如実知自身」といいます。如実とは実際の如く、知自身とはありのままの自分の心を知ることです。それで初めて、自分の心境にたどり着けることになるのです。

くすのです。そうすれば、自然に「布施行」となつて、更にそれを続けることによつて、全ての物が正しく流れて行く。それが仏教の世界なのです。

日々医療に従事されておられる、武田病院グループの先生方や看護師の皆さまは、全て患者様のために、日々精進していただいています。まさに、その心は、いつも布施行の実践をいただいております。敬意を表しております。これから、人々のために精進していただき、患者様のために「尽力賜りますよう願っております。

平成30年度 武田病院グループ物故者追悼法要 1261柱の御霊を追善供養

武田病院グループ9病院の入院患者および特別養護老人ホームの入所者など、この一年間に亡くなられた方々の合同慰霊祭『武田病院グループ物故者追悼法要』が10月28日、真言宗醍醐派総本山醍醐寺金堂で厳かに営まれました。当日は、武田病院グループ理事者をはじめ、医師、看護師ら医療・福祉従事者や職員150人が参列し1261柱に、誠心より哀悼の意を捧げました。



編集後記



京都認知症総合センターでは10月24日、宇治市と共催で「オレンジドア ノックノックれもん」を開催しました。オレンジドアとは、認知症の当事者同士の「出会いの窓口」をめざす取り組みです。当日は、講演会として「認知症の当事者からのメッセージ」が行われたほか、当センターの専門職、地域のケアプランセンターや地域包括支援センターの専門職を招いての「専門職ミーティング」が行われました。

今後も地域に寄り添う当グループならではの取り組みに力を注いでまいります。

「たけだ通信」編集室



今号の表紙「マスカット」

たけだ [第114号]
●発行人/武田隆男
●発行所/京都市下京区塩小路通西洞院東入ル 医療法人財団康生会武田病院 TEL 075-361-1351(代)
●編集人/「たけだ通信」編集室
●発行日/平成30年12月1日